

事業番号										2023		-		文科		-		22		-		0050		
令和5年度行政事業レビューシート（文部科学省）																								
事業名					体験活動等を通じた青少年自立支援プロジェクト										担当部局庁			総合教育政策局					作成責任者	
事業開始年度					平成23年度			事業終了 (予定)年度			終了予定なし			担当課室			地域学習推進課					地域学習推進課長 高木 秀人		
会計区分					一般会計																			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)					教育基本法第12条										関係する 計画、通知等			「新たな教育振興基本計画」(令和5年6月16日閣議決定) 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」(2020改訂版)(令和2年12月21日閣議決定) 子供・若者育成支援推進大綱(平成28年2月9日子ども・若者育成推進本部決定) 経済財政運営と改革の基本方針2023(令和5年6月16日閣議決定) 人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育振興について(答申)(平成30年12月21日中央教育審議会) 今後の青少年の体験活動の推進について(答申)(平成25年1月21日中央教育審議会)						
政策					1 新しい時代に向けた教育政策の推進										主要経費			教育振興助成費						
施策					1-5 家庭・地域の教育力の向上																			
政策体系・評価書URL					https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_1-5.pdf																			
事業の目的 (5行程度以内)					新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、青少年の日常生活において、遊びや体験の場、本物に触れるなどの体験活動の機会の減少や格差が課題となっている。そのため、体験活動の機会を充実させるための事業を実施するとともに、体験活動に関する普及啓発や調査研究、民間企業が実施する優れた取組に対しての顕彰事業を実施することにより、社会全体で体験活動を通じた青少年の自立支援をより一層促進する。																			
現状・課題 (5行程度以内)					子供の頃に体験活動の機会が多いほど、非認知能力が高くなる傾向が見られるという調査結果※ ¹ がある一方で、体験活動を提供する主体である青少年教育施設や団体は減少傾向※ ² にあり、子供が体験活動に参加する割合も減少している※ ³ 。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、遊びや体験の場、本物に触れる体験などの体験活動の機会の減少や格差が生じている。子供の体験活動を推進するにあたっての課題として、体験活動の「量」と「質」の確保、体験活動の「利用者」と「提供者」を結びつける仕組みの構築、体験活動の教育的価値の啓発等が挙げられる。 ※1文部科学省「青少年の体験活動に関する調査研究(令和2年度調査)」、国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する意識調査(令和元年度調査)」 ※2文部科学省「社会教育調査」 ※3国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する意識調査(令和元年度調査)」																			
事業概要 (5行程度以内)					①青少年の体験活動の推進を図るため、家庭や企業、社会教育団体、指導者等へ体験活動の理解を求める普及啓発事業を実施する。(開始年度:平成23年度、終了予定なし) ②青少年の体験活動の推進に関する調査研究を実施する。(開始年度:平成24年度、終了予定なし) ③安全・安心にリアルな体験活動を行うための長期(4泊5日程度)の自然体験活動等のモデルとなる体験プログラムを実施する。(開始年度:令和3年度、終了予定なし) ④社会貢献活動の一環として青少年を対象に優れた実践を行う企業を表彰し、その取組を全国に広く紹介することを通して、青少年の体験活動の推進を図る。(開始年度:平成25年度、終了予定なし) ⑤子供たちのリアルな体験の機会充実のため、デジタル化やコロナ対応を踏まえながら、体験活動の推進に取り組む地域や企業と教育機関の連携促進のための体制構築を図る(開始年度:令和5年度、終了予定なし)																			
事業概要URL					-																			
実施方法					直接実施、委託・請負																			
補助率等					-																			
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)							令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求													
					予算の 状況	当初予算(A)	27	69.6	72.1	78.7	104.5													
						補正予算(B)	453.8	-	-	-														
										-														
										-														
										-														
										-														
										-														
						前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-													
						翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-														
					予備費等(E)	-	-	-	-															
					計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	480.8	69.6	72.1	78.7	104.5														
					執行額(G)	449.2	57.6	62.7																
					執行率(%) =(G)/(F)	93%	83%	87%																
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}	93%	83%	87%																					
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)					歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)															
					(項)		教育政策推進費			体験活動の推進に取り組む地域や企業と教育機関の連携体制構築のため、ポータルサイトの機能拡充や地域における推進体制の構築に必要な経費等の増額要求														
						(目)	教育政策推進事業委託費	53.5	78															
						(目)	庁費	23.2	24															
						(目)	職員旅費	1.0	1															
						(目)	委員等旅費	0.6	0															
						(目)	諸謝金	0.4	0															
							その他		0															
							計(A)	78.7	104.5															

活動内容① (アクティビティ)		青少年の体験活動の推進を図るため、家庭や企業、社会教育団体、青少年指導者等が、体験活動への理解を求めていくためのフォーラムなど、体験活動等を定着させるための普及啓発事業を実施する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		家庭や企業等に対する体験活動の理解を深めるための普及	普及啓発事業の参加者数	活動実績	人	515	328	207	－	－	
				当初見込み	人	336	515	328	515	－	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	体験活動の理解を深めるための普及啓発事業の実施により、参加した者が体験活動への理解を深め、興味を持つことにより、体験活動に関する意識が向上するため、下記の短期アウトカムを設定した。 ※本事業による効果の発現経路は、アクティビティ①～④が相互に作用して各アウトカムが発現するものとなっており、成果目標①-1についてもアウトプット①～③の効果として発現するものとなっている。									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 － 年度		
		体験活動等を通じた青少年自立支援プロジェクト活動に関する保護者の意識の向上	調査において、学校の授業や行事以外では、体験活動ができる機会が十分にある(とても思う、少し思う)と回答した割合	成果実績	%	－	－	－	－		
				目標値	%	－	－	－	－		
				達成度	%	－	－	－	－		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		「青少年の体験活動等に関する意識調査」(独立行政法人国立青少年教育振興機構) ※本調査は2～3年に1度実施する調査を指標としているため、令和2年度以降については現在データなし。次回(令和4年度)データは令和5年度内に公表予定。令和元年度実績は、46%。									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	事業の実施により、参加した保護者が体験活動の重要性を認識することで、子供の体験活動への参加に積極的になるため、下記の短期アウトカムを設定した。 ※本事業による効果の発現経路は、アクティビティ①～④が相互に作用して各アウトカムが発現するものとなっており、成果目標①-1についてもアウトプット①～④の効果として発現するものとなっている。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 － 年度		
		体験活動に参加する子供が増加	学校以外の自然体験に関する行事に参加した子供の割合	成果実績	%	－	－	－	－		
				目標値	%	－	－	－	－		
				達成度	%	－	－	－	－		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		「青少年の体験活動等に関する意識調査」(独立行政法人国立青少年教育振興機構) ※本調査は2～3年に1度実施する調査を指標としているため、令和2年度以降については現在データなし。次回(令和4年度)データは令和5年度内に公表予定。令和元年度実績は、50%。									
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									

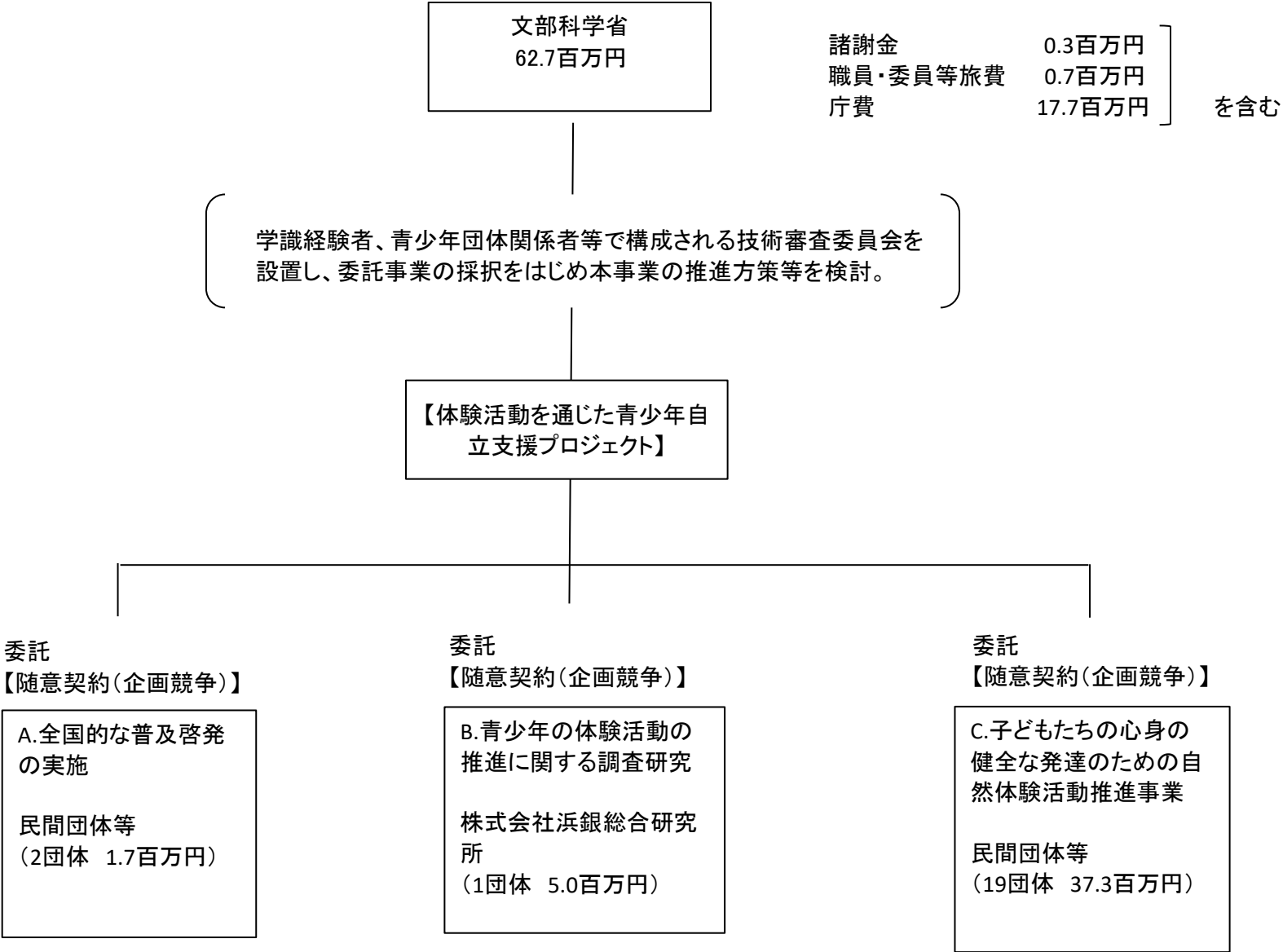
活動内容② (アクティビティ)		安全・安心にリアルな体験活動を行うための長期(4泊5日程度)の自然体験活動等のモデルとなる体験プログラムの実施									
↓											
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		自然体験活動等のモデル事業の増加	子供たちの心身の健全な発達 のための自然体験活動推進 事業数	活動実績	事業	99	41	19	－	－	
				当初見込み	事業	366	63	24	24	－	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	事業の実施により、参加した子供が満足感を得ることで、更に次の体験活動をやってみたいと思うことが考えられるため、下記の短期アウトカムを設定した。 ※本事業による効果の発現経路は、アクティビティ①～④が相互に作用して各アウトカムが発現するものとなっており、成果目標②-1についてもアウトプット①～④の 効果として発現するものとなっている。									
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 － 年度		
		体験活動への参加意欲の向上	体験活動への参加意欲度	成果実績	%	－	－	－	－		
				目標値	%	－	－	－	－		
				達成度	%	－	－	－	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		※新たな短期アウトカムの設定により、令和6年度事業より当該事業の参加者に対し、一律でアンケート調査を実施する。									
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	長期自然体験活動モデル事業により、参加意欲が向上した子供が次の体験活動へと参加すると考えるため、下記の長期アウトカムを設定した。 ※本事業による効果の発現経路は、アクティビティ①～④が相互に作用して各アウトカムが発現するものとなっており、成果目標②-3についても短期アウトカム①～ ③の効果として発現するものとなっている。									
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 － 年度		
		体験活動に参加する子供が増加【再掲】	学校以外の自然体験に関する 行事に参加した子供の割合 【再掲】	成果実績	%	－	－	－	－		
				目標値	%	－	－	－	－		
				達成度	%	－	－	－	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		「青少年の体験活動等に関する意識調査」(独立行政法人国立青少年教育振興機構) ※本調査は2～3年に1度実施する調査を指標としているため、令和2年度以降については現在データなし。次回(令和4年度)データは令和5年度内に公表予定。令和 元年度実績は、50%。									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									

活動内容③ (アクティビティ)		企業が社会貢献活動の一環として実施した優れた実践に対して表彰し、その取組を全国に広く紹介することで青少年の体験活動の推進を図る。									
↓											
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		体験活動推進に取り組む企業の増加	青少年の体験活動推進企業 表彰への応募数(前年度以上)	活動実績	社	54	52	55	－	－	
				当初見込み	社	48	54	52	55	－	
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	社会貢献活動の一貫として青少年の体験活動に関する優れた実践を行っている企業を表彰し、全国に広く紹介することにより、更に体験活動の機会を提供する企業等(提供者)が増えることが考えられるため、下記の短期アウトカムを設定した。 ※本事業による効果の発現経路は、アクティビティ①～④が相互に作用して各アウトカムが発現するものとなっており、成果目標③-1についてもアウトプット①～④の効果として発現するものとなっている。									
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 － 年度		
		体験活動の機会を利用・提供する団体の増加	ポータルサイトの登録企業数	成果実績	社	－	－	－	－		
				目標値	社	－	－	－	－		
				達成度	%	－	－	－	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		※令和5年度に体験活動の推進に取り組む地域や企業と教育機関等の連携促進のために、ポータルサイトを構築する。そのポータルサイトに登録した企業数を短期アウトカムとする。									
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	企業の体験活動表彰を行うことにより、体験活動の機会を提供する企業等(提供者)が増えることにつながり、より多くの子供たちが体験活動に参加できる機会が増えるため、下記の長期アウトカムを設定した。 ※本事業による効果の発現経路は、アクティビティ①～④が相互に作用して各アウトカムが発現するものとなっており、成果目標③-3についても短期アウトカム①～③の効果として発現するものとなっている。									
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 － 年度		
		体験活動に参加する子供が増加【再掲】	学校以外の自然体験に関する 行事に参加した子供の割合 【再掲】	成果実績	%	－	－	－	－		
				目標値	%	－	－	－	－		
				達成度	%	－	－	－	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		「青少年の体験活動等に関する意識調査」(独立行政法人国立青少年教育振興機構) ※本調査は2～3年に1度実施する調査を指標としているため、令和2年度以降については現在データなし。次回(令和4年度)データは令和5年度内に公表予定。令和元年度実績は、50%。									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									

活動内容④ (アクティビティ)		子供たちのリアルな体験の機会充実のため、体験活動の推進に取り組む企業や教育機関等の連携促進のため、体制構築を図る。【令和5年度より実施】									
↓											
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		体験活動推進のため、システムの構築	ポータルサイトに掲載した体験活動のプログラム数	活動実績	件	-	-	-	-	-	
				当初見込み	件	-	-	-	-	-	
↓	成果目標④-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	ポータルサイトの構築により、企業や団体等が自らの体験活動プログラムを掲載したいと思う企業等(提供者)が増えることにより、掲載された活動をやってみたいと思う学校や団体等(利用者)も増えることが考えられるため、下記の短期アウトカムを設定した。 ※本事業による効果の発現経路は、アクティビティ①～④が相互に作用して各アウトカムが発現するものとなっており、成果目標④-1についてもアウトプット①～④の効果として発現するものとなっている。									
成果目標及び成果実績 ④-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
		体験活動の機会を利用・提供する団体の増加	ポータルサイトへの登録団体等数	成果実績	団体	-	-	-	-		
				目標値	団体	-	-	-	-		
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		※令和5年度に体験活動の推進に取り組む地域や企業と教育機関の連携促進のために、ポータルサイトを構築する。そのポータルサイトに登録した団体数を短期アウトカムとする。									
↓	成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	体験活動推進のためにポータルサイト構築を行うことにより、体験活動の機会を提供する企業等(提供者)と体験活動をやってみたい団体や個人等(利用者)の双方のマッチングが増えることになるため、体験活動の機会の提供が増加することにつながり、本事業による効果を測定するために下記の長期アウトカムを設定した。 ※本事業による効果の発現経路は、アクティビティ①～④が相互に作用して各アウトカムが発現するものとなっており、成果目標④-3についても短期アウトカム①～③の効果として発現するものとなっている。									
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		
		体験活動に参加する子供が増加【再掲】	学校以外の自然体験に関する行事に参加した子供の割合【再掲】	成果実績	%	-	-	-	-		
				目標値	%	-	-	-	-		
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		学校以外の自然体験に関する行事に参加した子供の割合 ※本調査は2～3年に1度実施する調査を指標としているため、令和2年度以降については現在データなし。次回(令和4年度)データは令和5年度内に公表予定。令和元年度実績は、50%。									
アウトカム設定についての説明		アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									

[illegible]

※令和4年度実績を記入。
なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから合計が一致しない場合がある。



資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

